

当初・変更

執行機関

11055 文化振興課

入札（見積）執行調書
入札（契約）結果書

年災		事項		契約	令和4年8月24日
工事番号	22-11055-0011	委託業務名	文化センター舞台電動吊物装置災害復旧工事	着工	令和4年8月25日
入札執行年月日	令和4年8月12日	発注種別		完成	令和4年12月15日
審議番号	公所		本庁		
路線・河川名					予定価格
工事箇所	自				16,028,100
	至				
委託概要					

業者コード 業者名	落札者の住所		
	入札額及び再入札額		落札額(契約額)
森平舞台機構 株式会社	(1) 12,000,000	(2)	13,200,000
	(3)	(4)	
	(1)	(2)	
	(3)	(4)	
	(1)	(2)	
	(3)	(4)	
	(1)	(2)	
	(3)	(4)	
	(1)	(2)	
	(3)	(4)	
	(1)	(2)	
	(3)	(4)	
	(1)	(2)	
	(3)	(4)	
	(1)	(2)	
	(3)	(4)	

※ 上記入札額に、消費税額を加算した額が地方自治法上の申込みに係る価格である。
 ※ 測量等の場合、「工事名」とあるのは「業務名」と、「工事箇所」とあるのは「業務箇所」と読み替えるものとする。

文化センター災害復旧事業における随意契約について

令和4年7月12日

文化振興課

1 工事名及び概要

文化センター大ホール舞台吊物装置災害復旧工事（工期：令和5年3月31日限り）

令和4年3月16日の地震で被害を受けた大ホール舞台吊物装置の復旧

被災部品の更新（ガイドレール、分銅棒、ガイドレールリミットスイッチ、ガイドシュー）

2 事業費（予算額）

16,028,100円（16,029千円）

3 随意契約とする理由及び根拠

(1) 概要

本件工事は、令和4年3月の地震で被害を受けた県文化センター大ホールの舞台吊物装置の災害復旧工事である。

当該舞台装置は音響反射板を上下動させるエレベータ類似の装置である。

(2) 被災概要

令和4年3月の地震により、カウンタウェイトのガイドレールからの脱落や制御装置の異常などが確認された。現況のままでは、重りや音響板が暴れ、音響板そのものや重り（1トン超）の落下により、舞台床面や舞台機構を破損する可能性がある。今後同様の地震があった場合に、音響板等の落下による二次被害が発生しうるため、早期の復旧が求められている。

(3) 本件装置の特殊性

本件装置のような舞台装置は、ホールの規模や構造、目的に応じて専門業者によりオーダーメイドで設計・製造・施工され、保守点検に至るまで設置業者の手によって行われる。

これは、工事に用いる部品のほとんどが施工業者の製造するものに特定され、他社が製造する同等品等での対応は不可能であるためである。

(4) 結論

以上により、被災した設備の災害復旧であり速やかな着工が求められること、次年度以降の施設供用に多大な支障を及ぼすことから、地方自治法施行令第167条の2第1項第5号に基づき随意契約とした。

また、今回の工事は令和4年3月の地震被害を受けた部品の更新をするものであり、被災を免れた部品との調整を図りつつ行う必要がある。設備の故障・事故発生時の責任の所在や部品の製作・調達を考慮すると、対応可能なのは施工業者のみであることから、県財務規則施行通達第269条関係1-(2)に基づき、競争入札に付すことが適当でないことから、下記施工業者を単独見積相手先とした。

4 随意契約の相手方

森平舞台機構株式会社（東北出張所：仙台市青葉区二日町13-18）

※ 本件装置の設計・製造・施工業者であり、保守点検業者。

なお、上記の者以外に舞台装置を専門に扱う業者で、県内市町村や他県での受注実績を有する複数業者に対し参考見積を依頼したが、特注部品の調達や動作確認の調整は製造業者以外では対応できないことを理由にいずれの業者からも見積を断られた。